

一以貫之

題字 一以貫之 揮毫 四国中央教育会OB 石村 史子 解説は3面



発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089) 945-8644
FAX (089) 945-1459
E-mail info@chime-kyouikukai.jp

謹賀新年
(公財)愛媛県教育会
理事長 福本 純一
役職員一同

次世代に向け、つなぎ、支え合う 〜現退一体、愛媛県教育会 一家総ぐるみで〜



公益財団法人愛媛県教育会

理事長 福本 純一

新年明けまして

おめでとうございます
今年も、十干が已で、十
二支が亥ですので、干支は「己亥」は、己亥となり、己亥は、草木の成長から見たものを人や組織に当てはめると、己亥完成した自己や成熟した組織が、自己実現から人・社会への貢献へと変わる時期。亥は人材や設備の基盤を固め、次に備えてエネルギーを貯める時期といったように、内なる充実をはかり、次のステージの準備をする年ということとなるようです。昨年は明治元年から満150年の年であり、今年も5月より新年号となり、正に新しいステージを目指す年となります。

昨年7月の豪雨に際しては、愛媛県も甚大な被害を受け、

多数の尊い命を失うこととなりました。謹んで哀悼の意を表します。豪雨による災害の後、現在も復旧・復興に向けて多数の尊い支援が行われています。得た教訓は様々ありますが、「命の尊さ、くじけないで生きること、絆や繋がりを思い知らされました。県教育会でも、愛教研と連携・協力し、現職・退職会員一体となり、被災された皆様に対し、会員の皆様より義援金を受け、845万円のお見舞いの支援をさせて頂きました。世界保健機関(WHO)の定義によれば、65歳以上人口の割合が21%超で「超高齢社会」。現在日本は約27%以上の方が65歳以上で「超高齢社会」です。2030年頃には、

人口の3分の1が65歳以上になるものと推計されています。昨年度、京都大学の本庶佑博士がノーベル医学生理学賞を受賞され、氏の言葉や歩いてきた道を見ると、とにかく粘り強い、諦めない、多くの人のためにという思いの強さが見て取れます。公益財団法人愛媛県教育会も、創立来、半世紀を超え、これからは共に生き抜くうえで物や金は有限ですが、人の知恵やネットワークにはまだまだ伸びしろがあると考えており、今後とも、粘り強く公益に資する事業に取り組んでまいりたいと考えています。年頭にあたり、このような時代に「愛媛県教育一家」、現退、老若一体となり、一家総ぐるみで「次世代に向け、つなぎ、支え合う」ことを通して更に足腰(基盤)を鍛え、未来に向かう子どもたちが大きな「夢」を持てるよう支援すべく、着実に歩を進めていきたいと思っております。各位の更なる御支援・御協力をよろしくお願い申し上げます。



(大倉可貴先生・画)

聞 びょう 響

卓球の福原「愛ちゃん」が平成最後の秋に第一線を退いた▼3歳からラケットを握って大活躍し国民的アイドルとなった▼今、日本の

卓球界は愛ちゃんと共に盛り上げて来た石川選手や男子の水谷選手がいる。さらに愛ちゃんに憧れて卓球を始めた伊藤選手や平野選手、男子の張本選手など若手が著しい成長を遂げ、東京2020での金メダルを口にするほどである。若手の成長を見届けた愛ちゃんは今後指導者など別の立場で卓球界に恩返ししていきたいと話している▼折しも、日本の卓球界は地域主導でチームを編成し戦う「リーグ」を立ち上げ日本のお家芸復活を目指している▼そのTリーグの理事に就任した愛ちゃんは、現役引退会見で「卓球からいろんなことを教わった。今度はこれを次の世代にしっかりと受け継いで国民の皆さんに夢と感動をお届けしたい」と語っている▼昨年、ノーベル賞を受賞した本庶佑氏が、「ノーベル賞は大きな夢であるが人生の目標ではない。患者さんの命を救うことこそが喜びである」と述べていた。愛ちゃんの第二の人生と重ね合わせることができ、いつも誰かのために！

ひとこと

自然



教育委員会 会長 上野 利幸

日本には四季があり、それぞれの季節を楽しんできた。

旅行が好きで、毎年のように日本各地に出向き素晴らしい自然を見てきた。真つ白な雪の世界や目にまぶしい新緑、紅葉、海山の地形、温泉など

季節ごとに楽しませてくれた。また、野菜や、果樹栽培を楽しんでおり、雨降りや所用がある日以外は、毎日畑に通い汗を流している。ところが、今年の冬は寒く、西予市宇和町で氷点下12度と観測史上最低の気温となり、果樹の一部が枯れてしまった。夏は、高温で日射が強く熱中症を心配しながらの作業となった。観測史上最高の気温とか最低の気温、最高の積雪、最高の

雨量を記録したなどの報道を多く耳にする。また、台風や地震も多くなり、日本各地で被害が出ている。

今年、西日本豪雨による被害や台風の日本上陸で風や雨による被害、大阪、北海道で起こった地震による被害など日本各地で災害が発生し、尊い命が失われた。また、山崩れなどにより地肌がむき出しとなるなど自然破壊も起こった。愛媛県でも西日本豪雨により、多くの場所で尊い命が奪われるなど甚大な被害があった。

近年、毎年のように各地で自然災害で被害が出ている。温暖化による異常気象が影響しているところがあると思うが、科学技術が進歩し、便利に何でもできる世の中となつた今、台風の勢力や、雨量、地震の揺れなどをコントロールできないのだろうか。被害が少しでも少なくなる方法が見つかり、災害がなく、楽しく生活できる美しい日本であってほしいと願っている。

学校紹介

No.195

松野町立松野中学校

51年目の歩み

松野中学校は、愛媛県の南西部に位置する、松野町唯一の中学校です。5年前に冷暖房完備の木造校舎が新築され、素晴らしい環境の中で、生徒会が「好きです！松中」のスローガンを掲げて、のびのびと学習や運動に取り組んでいます。

本校は、昨年創立50周年を迎えました。創立50周年という記念すべき一年の取組は、温故知新のとても充実したものでした。松野中学校が、松野町やたくさんの人に見守られ、支えられているということ

を強く実感することができました。そこで、今年度は、地域貢献を教育の重点にしました。生徒総会において、「『やる活動へ』をスローガンに積極的にボランティアに参加することに決まりました。以下本校の活動です。

一つ目は、ボランティア通帳の採用です。自分が活動したボランティアの内容を記録し貯めることにより、自分がどれくらい学校や地域に貢献したか、目に見えて分かるようにしました。積極的に活動



して貯ボラできてきた生徒が増えていきます。

二つ目は、地域ボランティアです。西日本豪雨は甚大な被害をもたらしました。松野町も多くの人が浸水被害に

遭われました。豪雨があった翌日には、「今こそ松中生の力を」の思いで、全校生徒が地域に向いてボランティア活動をしました。被害の現状を目の当たりにした生徒たちは、猛暑の中黙々と作業に取り組みました。地域の方からは多くの感謝の言葉が届きました。

三つ目は、ボランティア活動の日の設定です。2学期から毎週水曜日をボランティア活動の日として、各委員会主



俳画・水墨画教室 佐々木ゆかり 作

催の活動を集中的に行うことにしました。伝統的に取り組んでいる活動の1円玉募金やアルミ缶回収、使用済み切手回収、あいつ運動などです。募金やアルミ缶の換金は町内小学校と協力のもと備品を購入して、毎年町内の福祉施設に寄贈しています。使用済み切手は小さな親切運動に役立ててもらっています。友だち同士で声を掛け合い、毎回参加する生徒が増えています。私たちの生活は、いろいろな人の支援や関わりで成り立っています。生徒には、感謝の気持ちを忘れないで、いつでもどこでも自分にできることで社会に貢献する人になつてほしいと願っています。

松野中学校が「今日も行きたい学校」「今日も行かせたい学校」「今日も働きたい学校」であるために、これからも全教職員が尽力していきます。

(教頭 松本 恵一)

題字に寄せて

いちもって、これをつらぬく
一以貫之



石村 史子
四国中央教育会
OB

孔子が曾子に語ったことば
で、「わたしは、終生一貫し
た変わらぬ道を歩いてきた。
一貫した道とは忠恕（真心か
らの他人への思いやり）、つ
まり人道です。」の意。

長い長い時の流れとともに
人と人との間で繋がってきて
いる深みのある言葉。私は今、
「書」の世界において、経験
が浅い身。それを承知のうえ
執筆させていただいておりま
す。

今まで、出会いのあった先
生方の温かい言葉を励みに、
きめ細かい導きのもと、様々
な表現で繋がりを感じます。
感謝を忘れず歩みたい。

ふるさとに生きる

「感謝の心」と「有言実行」



西田 和子先生

訪問者 水本 千鶴
(大洲市教育会OB)

西田和子先生のお住まいが
ある大洲市田処は、肱川の支
流矢落川の上流に位置し、風
土もそこに住む人々も山村ら
しいあたたかさや粘り強さの
ある地域です。この矢落川流
域は、県天然記念物に指定さ
れたゲンジボタルの発生地で
もありません。

先生は女学校在学中に教師
の資格を取得し、40年間教職
に就かれました。退職後も持
ち前の明るさと行動力で地域
の活性化に尽力され、平成28
年度愛媛県教育会教育功労者
賞を受賞されました。今回は
そのご活躍の一部を紹介しま
す。

No. 99

1 「ほたるまつり」

田処地区では隣接する柳沢
地区と共に、毎年6月上旬の
夜、廃校になった小学校跡地
付近で「ほたるまつり」が開
催されます。田処地区の人口
は130人余りですが、期間
中には県内外から延べ1、
000人くらいの見物客が訪
れるそうです。そのお客さん
をもてなそうと、地元のボラ
ンティアが田田処小の体育館
(農村活性化センター)に待
機。午後10時近くまで接待を
しています。そのボランティア
代表が西田先生です。先生
は元気いっぱい笑顔いっぱい
でホテルのことや地域の今昔
についてお話をされています。

2 「大杉年輪塾」

す。先生のお話は尽きること
がありません。ほかにもお茶
やお菓子などの接待があり、
楽しく時間の経つのも忘れて
しまいます。

「年輪塾」は、全国観光カ
リスマに認定されている若松
進一さんを塾長とする双海町
の私塾です。「自らの進むべ
き道を探求し、年輪を刻むが
如く、常に己の輪を広げるよ
う進化・自立の気風を養う」
ことを目指しています。先生
はその塾生としても学ばれて
います。「自分のふるさとに
誇りを持ち、将来にわたって
素晴らしいふるさとを残して
いきたい」という熱い思いか
ら、のれん分けという形で田
処地区に「大杉年輪塾」を開
塾されました。今までに開催
された主な内容は、様々な分
野の有識者による講話、県警
音楽隊の演奏、著名な音楽家
によるコンサートなど多岐に
わたっています。

3 対談を終えて

先生は87歳の今も若々しく
生き生きと精力的に活動され
ています。先生は、「これら

の活動は一人ではできない、
協力者がいるからできる、自
分は地域で生かされている、
させていたただいている」と話
されました。ホテルがある自
然に感謝、地域の人脈に感謝、
「感謝、感謝」という言葉を
繰り返されました。そして、
行動したら自然に人はついて
来る、口だけではダメ「有言
実行」という言葉に、私たち
のこれからの生き方を示唆し
ていただいたような気がしま
す。

西田 和子先生 (87歳)
(大洲市田処在住)



特集 私の夢―新年への抱負―

初任者としての一年



西条市西条小
教諭 寺田 英恵

去年、私は大学を卒業し、教職に就きました。この道に進もうと決めてから長い期間が経ち、ついに地元の小学校で勤務することになりました。分かってはいましたが、ただ子どもたちと一緒に時間を過ごすだけでなく、想像以上に多種多様な仕事がありました。目まぐるしく過ぎていく毎日は、慣れないことばかりでまだまだ目の前のことに必死な状態です。そんな中、あつという間に半年以上が過ぎていきました。

この9か月間、私は子どもたちから教わるが多くありました。夏の暑さに負けることなく明るい子どもたち、目標に向かって一生懸命取り組む子どもたち、素直に「あ

りがとう」や「ごめんね」が言える子どもたちからは、今日も頑張ろうという力や感動、人として大事なことを日々教えてもらっています。

2019年、私は吸収の年に行きたいと思います。初任者研修に行けば、同じような悩みをもつ同期の先生が話を聞いてくれたり、アドバイスをくれたりします。さらに、西条小学校には素晴らしい経験と豊富な知識を持った先生方がたくさんおられます。先生方の授業実践や学級経営等の技を吸収し、少しでも自分の引き出しを増やしたいと思えます。教員1年目らしく、学ぶ姿勢を常に持ち、子どもたちのために頑張ります。そして、子どもたちに負けないよう、これから教員として成長していきます。

12年後の私…



今治市桜井小
教諭 武田 耕太郎

「先生は、12年後なんしょん？」

ある子どもに問われ、即答できずに、ぎこちない笑顔でごまかす24歳。

今年度、6年生は「12年後の私」というテーマで立体作品を作った。子どもたちは、真剣に悩みながらも医者、薬剤師、教師など、思い思いの未来を形作っていく。この私たちの12年後は、奇しくも今の私と同じ年齢。はたして、私は、彼らの目標となる大人になれているのだろうか。

教員になるという夢が叶って2年目。まだまだできないことだらけであるが、職場の先生方に助けていただき、充実した毎日を送れている。そういういった先生方の普段の何気ない動きや子どもとの接し方を見てみると、どの先生方も、自分なりのスタイルを確立しているように思う。それは、「信念」と言い換えてもいい

のかもしれない。しかし残念ながら、そういった「信念」

のようなものが、今の私にはない。だから、目標が定まらないのかもしれない。「こういった信念をもって教師をしたい」という強い思いが、目標となっていくのではないだろうか。今年度、教員3年目を迎える自分とすっかり向き合っている自分と、先輩方のように自分の教員としての「信念」を見つけた。それを土台とし、これからの教員人生をよりよいものにしていきたい。

そして、12年後、若い教員に、

「先生は、12年前はなにしようと思ったんですか？」

と聞かれれば、待ってましたと言わんばかりに今度は、自分の信念をとうとうと語れる人になりたい。

思いを新たに



松山市中島
教諭 大柳 美優

「笑顔と言葉を大切にできる教員になります。」これは2年前の教員採用試験で私が

答えた教師像です。

先日、生徒たちが「先生の良いところ」というテーマで作文を書いてくれました。ドキドキしながら目を通すと、多くの生徒がまず初めに「笑顔」というキーワードを挙げてくれていました。それを見たとき、これまで約1年半「教師」として毎日を過ごす中で、生徒の目に映る自分の姿をしっかりと意識したことがあっただろうか、と内省しました。心の余裕のなさに、仏頂面になっていたことはないだろうか。顔が強ばっていたことはないだろうか。生徒が書いてくれた作文を読んで、ほんの2年前に決意したこと、ふと心が揺らいだ出来事でした。

私の趣味は写真を撮ることです。この趣味は、校内行事で生徒の活動の様子を記録するときにも役立っています。

現在、私が勤務している中島中学校は、全校生徒数36名の小規模校です。だからこそ、生徒一人一人の表情、様子、空気がより近くで感じ取れます。36人しかいなくても、シャッターを切る度に映る表情はたくさんあります。そん



第70回日連教桐生大会記念講演(昨年八月開催)

演題「楽しい未来の低炭素社会」

―感性、本物の贅沢、人の繋がりがり―

群馬大学大学院理工学府
環境創生部門特任教授

宝田 恭之氏

報告者



内子町天神小
教頭
山田 千尋



1 エネルギーの種類

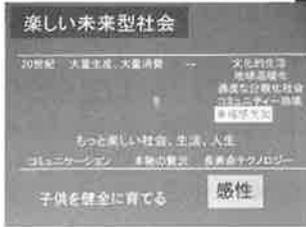
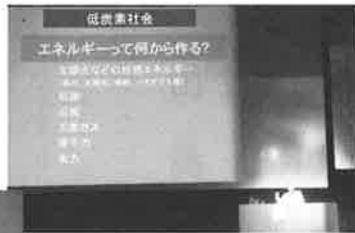
エネルギーには種類がある。太陽光で代表される自然エネルギーと、石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料資源によるエネルギー。原子力エネルギー、水力エネルギーもある。

ここで問題。世界の消費エネルギーで2番目に多いのは何か？ 答えは石炭。1位は石油。3位は天然ガス。原子力は6〜7パーセント程度。水力は1パーセント程度。世界全体のおよそ90パーセントを化石燃料資源で賄っている。
2 エネルギー消費について
人類は、ホモサピエンスになってから数万年から十万年。それでもまだほとんどエ

ネルギーを使っていなかった。産業革命以降、石炭を使って蒸気を発生することからエネルギー消費が始まった。1950年以降急激にエネルギーの消費が伸びた。石炭エネルギーに石油エネルギー、そして、天然ガスの消費が加わっている。先進国はエネルギーの使用量が高い。後進国はエネルギー使用量が低い。文化的な生活を維持するためにはエネルギーが必要。また、エネルギー使用量は平均寿命とも関わりがある。人間の命とエネルギーが等価になっている。

今後、後進国が寿命を延ばすためにエネルギーを使いたいと言ったとき、先進国として、地球環境問題を理由にエネルギー使用量を減らすよう

に言ったら、それは先進国のエゴとしか言いようがない。先進国は生きるためにエネルギーを使っているのではない。楽しみや豊かな暮らしのために使っている。それに反して後進国は生きるために必死でエネルギーを使っている。同じ地球にいるわけだから、それらを含めチームとして考えていかなければならない。
3 エネルギーの選択
日本はほとんどエネルギー資源がない。原子力を日本の資源としてカウントした時でさえ93パーセントは輸入。そういう国がこれだけの社会を築いていくためには、環境問題はもちろん重要だが、エネルギーの安定



供給、そして経済性、安全確保も考えなくてはならない。
ここで問題。富士山にプラスチックでコーティングすると、富士山型のコップ

ができる。このコップで世界中の石油を量ったら大体どのくらいあるか？ 答えは0.8杯。だから、私たちは資源を大切に使う必要はない。地球が数億年かけて貯めたエネルギーを、我々は、瞬間に使ってしまう。私が目指す低炭素社会は、「世界で「そんなことできない。」と言われていて。でも、私は世界で初めてというものに挑戦したい。何がなんでも成功させたいと思っている。
4 楽しい未来型社会を！
苦しい取組は長続きしない。楽しいと思える取組でないといけない。健全な信念と仲間がいれば、うまくいく。仲間とのコミュニケーションで、分散化された社会を融合し、パーチャルな社会でなくリアルな社会で、文化や自然に直接触れる本物の贅沢を知ることが大切。私は、「未来創生塾」で子どもたちに、実際に体験させることを通じて、感性や第六感を育みたいと考えている。そうして、そこで学んだ子どもたちに、未来社会で活躍してもらいたいという願いをもって運営している。人が人とつながることにより、未来の「低炭素社会」を可能にしていくのだと信じている。

洋服の青山・はるやま
カード会員 ご入会のおすすめ
愛媛県学校生活協同組合連合会では、
青山・はるやま、両店舗と提携店契約を結んでおります。
お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または 郡市学校生活協同組合
どちらも学校生活協同組合員価格として、
店頭価格より10%の割引が適用されます。

自動車大口団体割引保険のおすすめ
学校生活協同組合員様は、現在ご加入の自動車保険無事故割引から
15%割引、一括払でさらに5%割引になります。
保険料のお支払は給与引法となります。
教員OBの方も口座振替(一括払)で適用されます。
一引受保険会社一
東京海上自動車火災保険(株)
三井住友海上火災保険(株)
損害保険ジャパン日本興亜(株)
お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
愛媛県教育用品株式会社
保険事業部担当 井戸・新まで

ふるさとスケッチ

No.418

松前中学校校舎



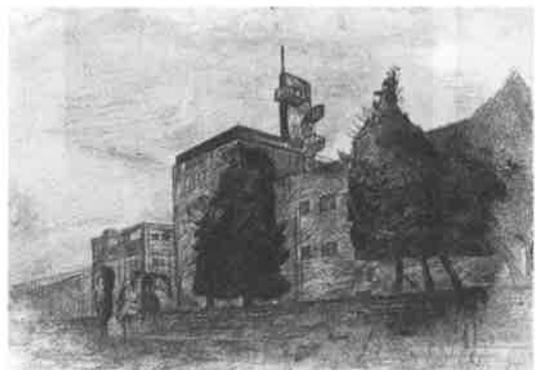
松前中 藤内 瑞代

松前中学校の正門側にある正岡子規の句碑にこう記されている。

五月雨や 漁婦かぬれて行く

平安時代に松前の地に流れていた多貴津姫が「おたささん」の由来である。行商として頭に桶をのせ魚を売り歩く姿は堂々としたもので、地元的女性たちもこれに続けと行

動した。魚だけでなく、松山城の城石を運んだといわれている。松前中学校の校舎は、らせん階段の優雅さと堅牢な造りで、その姿は在りし日の多貴津姫を偲ばせている。



ご冥福をお祈りします

渡部 勲様	95歳	西条市広岡四〇五	30	10	24
真木 英二様	88歳	今治市宮下町一四一七	30	10	27
原 守正様	93歳	新居浜市喜光地町二二二	30	10	28
大塚 年男様	86歳	大洲市東大洲三〇三三	30	10	29
森原 弘則様	78歳	松山市北井門三丁目八三三	30	11	4
阿部 益栄様	92歳	松山市星岡町二丁目六二〇	30	11	6
森 皓三様	84歳	松山市東方町三三六一	30	11	8
得能 順蔵様	90歳	八幡浜市保内町宮内二二七	30	11	9
石川 桂子様	67歳	新居浜市船木三六七二	30	11	14
吉本喜代成様	86歳	松山市星岡町三丁目一六八	30	11	15
薬師神陽子様	93歳	西予市野村町野村二二五	30	11	16
村上 恵久様	98歳	今治市吉海町椋名五七七	30	11	18

ローカル・ピククス 薬師堂



「南無阿弥陀仏」と唱えながら手早く大きな数珠を練つての無病息災や数珠で身体をさすつてもらうことでの病氣平癒を願つたり豊漁豊作を祈願したりする。またこの行事は地区の親睦にもつながっている。他の地域でもこのような行事はあるようだ。過疎化していく地域だけにこれらの行事の継続は難しいのではないかと心配であるが、この地で生まれ育つた私はぜひこれらの行事が続いて欲しいものだと思つている。

文教月報編集協力委員 小川 福子



福浦地区に地域の人々からお薬師様と呼ばれているお堂がある。言い伝えによると養老3年沖合で異様な光を放っている物を見つけた漁師が網で引き上げたところ、箱をしつかり抱いた大蛸がかかっていた。その箱には1体の薬師如来像が安置されていたので、人々はお堂を建ておまつりしたので起こりとされている。病氣を治してくれる如来様として今でも多くの人が蛸の絵を奉納し祈っている。毎年1月8日には奉納相撲が行われている。今では子どももの数も減って寂しくなってきたものの地域にとっては大事な行事の一つとして多くの人々が応援に集まる。また6月には『お念仏』といつて地区ごとにお堂に集ま

訂正 12月号、6・7面に誤りがありました。四国中央市の「井川るみ」が「高橋八重子」、「さくさくの」の句の「松陰小」が「松蔭小」、桑原小の「宮内砂羽」が「宮内彩羽」、浮穴小の「池岡稜桜」が「池岡稜桜」でした。お詫びし訂正いたします。

お得です！ 文教の宿泊・宴会
 知ってますか（楽天トラベルでも高評価）

- ◆お風呂は道後温泉からの引き湯（大浴場あり）
- ◆ワンコイン（500円）で宿泊可能！
 洋室シングルの場合（△会員割1,000円）
 4,500円（△教弘保険宿泊補助券3,000円）
- ◆5,000円で充実した宴会メニュー（飲放込）
 和室での宴会用椅子・テーブル利用可
- ◆料金はすべて税（消費税・入湯税）・サービス料込み

ご予約は 089-945-8644 エスポワール愛媛文教会館へ
 楽天トラベルからの予約も可能です。 HP <http://www.ehime-bunkyoikaikan.or.jp/>

「えひめ教育の日」 推進西予大会・ 推進フェスティバル

10月28日(日)に宇和文化会館(西予市)において第11回「えひめ教育の日」推進西予大会・推進フェスティバルを開催しました。

西予市内の小・中・高校の教職員、PTAの皆様を中心に、県議会、県教育委員会そして市町教育委員会関係者をはじめ、関係39団体の会員を加え総勢400名余の県民参加者のもと、盛大に行うことができました。



ファンファーレ
(3校合同吹奏楽部)



開会挨拶
(福本純一会長)



合唱
(宇和町小学校)



奥伊予太鼓
(奥伊予太鼓子供クラブ)



せい坊



宇和高校 (宇和米他)



野村高校 (愛ほかし他)



三瓶高校 (カンナフラワー)



宇和特別支援学校 (製作作品)



吹奏楽 (3校合同吹奏楽部)



琴演奏 (野村中学校)

中学校・高等学校の部 愛顔スマイル大賞



愛媛県立宇和特別支援学校

幼稚園・小学校の部 皆さん、だんだん大賞



西予市立多田小学校

昨年7月、豪雨により大きな災害が起こり、多くの尊い命が奪われました。私たちは自然の猛威の前に、人間はかくも無力なのかと思知らされました。しかし、被災地である西予市の方々の気丈な姿は、われわれ参加者に希望を与えてくださいました。復興に向けての力強いコメントやステージ発表、互いに助け合います、崇高さを改めて感じ取ることができました。

「えひめ教育の日」関連写真の募集に、県内105校より、「未来へ羽ばたけ! 愛顔いっぱいえひめっ子」をテーマとした作品105点をお寄せいただきました。その中から、「幼稚園・小学校の部」、「中学校・高等学校の部」の部門別に、大賞を各部門1点、優秀賞を各部門4点選ばせていただきました。

「えひめ教育の日」 関連写真 優秀賞

(幼稚園・小学校の部)
宇和島市立清満幼稚園
今治市立鳥生小学校
上島町立弓削小学校
西予市立田之筋小学校
(中学校・高等学校の部)
松山市立桑原中学校
西予市立野村中学校
宇和島市立城東中学校
愛媛県立松山中央高校



文教会館・愛媛県庁
ロビー展